

令和4年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金(地域福祉推進助成) 団体一覧

| ID | 団体名 | 主な活動地域 | 事業名 | 事業区分 | 実施期間開始期 | 実施期間終了期 | 事業実施場所 | 対象者等 | 事業内容の概要 | 助成決定額 | 実績額 | 返還額 |
|----|------------------------|-----------|--|--|----------|-----------|---|---|--|------------|------------|-----------|
| 39 | 社会福祉法人大阪ボランティア協会 | 大阪府内及び関西圏 | 「インクルーシブボランティア」のコーディネーションモデル構築事業～誰もが参加できるボランティア活動の支援体制づくりに向けた啓発～ | 民間団体提案型事業 | 2022/4/1 | 2023/3/31 | 社会福祉法人大阪ボランティア協会事務所及び府内のボランティア活動受け入れの現場 | 対象者は「参加」を生み出し、支えるボランティアコーディネーターやコミュニティワーカー、地域で居場所づくり等に取り組む府民等。受益者はボランティア活動や地域活動に参加したいという気持ちを持ちながら、コミュニケーションが苦手など、さまざまな課題を抱えていて、社会参加に制約がある人。 | インクルーシブボランティア推進プロジェクトチーム会議の開催(年6回) 誰もが参加できるボランティア活動の現場の視察(4箇所) 現場のコーディネーターを対象としたサロンの開催(年2回) 参加に制約のある当事者へのヒアリング(計6回) 上記の視察、ヒアリング等を踏まえて、啓発パンフレットを作成し、関係団体用へ配布した。初年度の成果を基に実践者との協働による参加型ワークショップとプログラム開発をもとに事業を展開していく。また、現場からプログラム開発に協力をしてほしいと求められており、次年度も継続して現場検証していく。 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| 40 | 公益社団法人認知症のひとと家族の会大阪府支部 | 大阪府下 | 認知症移動支援ボランティア育成事業 | 民間団体提案型事業 | 2022/4/1 | 2023/3/31 | 公益社団法人認知症のひとと家族の会 大阪府支部 | 若年性認知症の本人とその家族 高齢の認知症の本人とその家族 大阪府下の一般市民 | R4.9/23～24 移動支援ボランティア講座 対面とオンラインにて開催 事前に講座の開催チラシを配布し、また大学のボランティアセンター等にも周知した。 R5.2/19 実習報告会 R4.5/2～R6.3/18 府内各地にて認知症のひとと移動支援ボランティア活動 ボランティアと認知症の方がより理解し合う関係性を構築して移動サポートが行える。よきパートナーとして、ともに地域での生活を支え合うことができる。 今後もこのような視点に立ち、活動を展開していきたい。 | 4,360,000 | 1,887,131 | 2,472,869 |
| 41 | 特定非営利活動法人 福祉のまちづくり実践機構 | 大阪府 | 中間支援組織と連携した大阪の福祉化プロジェクト～SDGs先進都市大阪モデルづくり | 施策推進公募型事業 テーマ:「行政の福祉化」に係る「職域拡大」等支援のモデルづくり | 2022/4/1 | 2023/3/31 | 特定非営利活動法人 福祉のまちづくり実践機構 | 大阪府内でソーシャル・ファーム等の取り組みを実践する団体 大阪府内の中小企業 | ・H22年度は認証制度をスタートアップさせるにあたり、次の3点に取り組むこととしていたが、①②は実施し、③は見送った。①金融機関等と連携したアドバイザーの育成と認証機構の設立。②プレイヤー増につながる広報の充実。③企業認証の申請、審査会を踏まえ、制度のスタート。 ①については大学の学識経験者等が参画する公平性・信頼性の高い認証機構「一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさか」の設立につなげることができた。アドバイザー育成については、「京都のS認証」を研究会にて紹介し、研究会委員のみならずオブザーバーや認証機構設立メンバーと共有することができた。また、SNSを通じた情報発信により、一定数のフォロワーを確保できた。今後は社団法人が本事業の成果を事業を引き継ぎ、事業を継続していく。 | 5,000,000 | 4,796,982 | 203,018 |
| 計 | | | | | | | | | | 14,360,000 | 11,684,113 | 2,675,887 |